

学力・生活実態調査結果報告

寒冷の候、保護者の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年度の「学力・生活実態調査」の結果について、その概要をお知らせ致します。市の調査は、平成23年5月に6年生対象に実施されました。観点別に分析をしています。また、表の方は、どの程度理解できているかを%で表し、尼崎市・全国平均と比較したものです。尚、本調査は、学習の定着度や、学習意欲、家庭での学習実態を客観的に把握し、今後の指導体制や学習方法の工夫改善に役立たせるものです。今回は6年生の結果ですが、全校で、学校家庭が学力向上、生活改善に向けていっそうの取り組みを進めなければなりません。今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(1) 学力調査結果の分析

◎国語

- ・「話す・聞く」は全国平均よりわずかに上回っています。相手の意見を聞き取り、理解しようとする力は育ってきています。
- ・「読む力」では、文章の表現や叙述に注意しながら読み、内容を理解する力をつけていくことが課題です。
- ・「漢字の読み」は平均を上回っていたので、「書く力」をさらにつければ基礎的な力が定着します。

◎社会

- ・「日本の貿易の特色」、「情報機器とくらしの関わりについて」の内容は、よくできています。
- ・「わが国の位置や自然」、「森林資源の働き」については課題があります。
- ・「工業」、「水産業の特色について」は、理解し活用する力をつける必要があります。 ***6年調査結果(市・全国との比較)**

◎算数

H23年5月実施

- ・「単位量あたりの大きさ」は、全国平均をわずかに上回っています。
- ・「面積」「角柱や円柱」への理解の定着は、課題があります。
- ・「グラフを読み取り解く問題」については、復習する必要があります。

領域	本校 (%)	尼崎市 (%)	全国 (%)
国語	70.9	73.6	73.9
社会	70.4	72.4	73.0
算数	61.7	61.0	68.0
理科	70.3	71.4	73.1

◎理科

- ・「人や動植物の成長について」は良く理解し全国平均を上回っています。
- ・「電磁石と電流の働きについて」は、課題が見られます。
- ・「花のつくりと種子のでき方」、「物が水にとけるようすやきまり」は、実験観察の技能・表現に力を入れる必要があります。

(2) 生活実態調査

生活実態調査での特徴は、読書や家庭学習の時間が少ないということです。読書は「ほとんどしない」という児童が52%で、家庭学習は、「ほとんどしない」・「30分まで」を合わせて31%でした。朝食は、「毎日食べる」が87%で、「ほとんど食べない」が7%でした。「手伝いを毎日する」は、41%、「起きる時間」は、午前7時が最も多くて48%、「寝る時間」は午後11時頃が38%、午後10時が36%という結果でした。「家族の人に期待されている」は41%、「自分には、夢がある」は82%でした。中学校のことをどう思っているかは、「クラブ活動が楽しみ」76%、「弁当が楽しみ」76%、「校則が厳しそう」73%となっています。(そう思う・どちらかといえばそう思うの合計)

(3) 本年度の本校の取り組み

- ・朝の計算・学習タイムをしています。(読み書き、計算などの基礎学力の向上)
- ・教師の授業力向上のため、研究授業や公開授業及び研究協議会を実施しています。
- ・算数の基礎・基本の定着・思考力育成のため、少人数による指導(5・6年生)をしています。
- ・その他、各学年に応じたプリントや、漢字ミニテスト、ノート点検などに取り組んでいます。

(4) ご家庭へのお願い

基本的な生活習慣は、低学年のうちをしっかり身につけておく事が大切です。また、学年が上がってもそれが乱れないようにしていくことが大切です。寝る時間の遅い子は早く寝るようにすると、朝も早くなり、朝ごはんがしっかり食べられ、脳の働きがよくなります。テレビやゲームの時間は決めるようにし、その時間を短くして読書・学習に活用していきましょう。また、家庭学習の時間の目安は、学年×10+α(その子に合った時間)と考えます。6年生は、1時間以上は学習時間をとりたいと思います。自分の夢を持つ事は素晴らしい事です。家族で語り合う時間を大切にしていきたいと思います。今後も、ご家庭のご協力をよろしくお願い致します。